

● 木津川希少種植生調査監理業務 表示杭そばのクズの撤去 22 日(木)6 時 30 分から 8 時 20 分

4 番地から 24 番地までの明示杭にからむクズの除去を実施 里山の会では 1 番地から 39 番地に生育している希少植物の植生調査管理を行っています。三川合流地から木津川市加茂町の小谷地区までの希少植物を見守っています。木津川堤防は砂によって作られているので、水分や養分の保存がされず、大型植物の生育には適さず、それに草刈りなどの手入れがしっかりされてきたので、希少植物が数多く生育できる環境です。里山の会では 100 カ所を超える地域に希少植物が生育しているのを確認しています。そのうち絶滅寸前種と指定されているものを中心に見守ってきました。一昨年から国交省から業務の発注を受けてその管理を行っています。秋を目前にして、その明示杭にクズが絡みつき判らなくなっているのが、クズの除去に取り組みました。近鉄鉄橋付近から玉水橋までの範囲の点検を行いました。30 日に生育調査を行う予定にしていたのですが、雨予報なので天候回復次第行います。

● フナバラソウが刈り取られる

ここに生育するフナバラソウは物議をかもした運命に見舞われています。堤防のほとんどは国交省が管理するものですが、一部に占用許可を得て占用使用する場所もあちこちに存在しています。その占用使用の場所に木津川堤防で数カ所にしかない絶滅寸前の植物がフナバラソウです。里山の会では一応明示を避けつつしっかり管理してきました。しかし過日の除草作業で何回目かの刈取りが行われてしまいました。このフナバラソウは毎年確実に生育するものではないのですが、今年は元気に生育していてほっとしていた矢先の出来事になりました。

● 木津川で唯一の生育地イヌハギが敷地一面に繁茂し増殖 非常に大きな成功

里山の会がこれまで希少種の保全に取り組んできたおりに発見できたものでこのイヌハギは木津川でただ一カ所に生育している誠に貴重な植物です。発見当時は 3 株がよれよれの状態でした。少しずつ気を付けて見守ってきました。最近になって、専門に手入れすると山下茂さんが受け持っていただきました。山下さんの手厚い保護手入れが功を奏しその結果今では管理地一杯に繁茂して、絶滅の危機を脱したと言ってもいいくらいに成長しています。厳しい自然の中で懸命に生きる植物に手を加えていただいた結果です。いろいろご意見はあろうかと思いますが、しっかり手を加えていただいた結果、すばらしい成果に結びつきました。山下さまの苦労が大きく実を結びました。開花は 9 月中旬です。

● 第 2 回理事会が 25 日里山の会事務所で開催されました。これまで理事の有志で三回の理事会を開催して、25 周年記念事業について検討してきました。ここでの結論を提案いたしました。出席者の理事からは大きな問題点や疑問もなく次のことが決定承認されました。 1,結成 25 周年記念催事日を 2020 年 12 月 12 日(土)と決定 2,会員 300 人を達成して最高会員数で記念日を迎える 3,記念誌を発行する。まだまだ時間はあるように見えるけれど 1 年ぐらいいはあつという間に過ぎてしまうので、真剣にとり組まないと、いけないなあという声が聴かれました。

● 竹蛇籠・中聖牛の取組の中間まとめシンポジウムを 10 月 12 日(土)に開催

今回で 4 回目の蛇籠製作になります。はじめのころは言葉の上の机上の論だったものが、夏に静岡県島田市の原小組さんの蛇籠製作視察に冷房の利かない車で視察に出かけて、見よう見まねで取り組みました。左右両岸に 3 本一組の蛇籠 6 基を設置、一年間をあけて 17 年 18 年の 12 月に 3 基ずつ合計 6 基の中聖牛を実現させました。これに使ったのが、蛇籠 27 本の製作です。いずれも製

作技術の普及と啓発を狙いにしていますので、製作講習会の開催を10回以上計画して取り組んできました。4回目の今年も9月15日(日)9時30分を初日にして以後毎週土・日を設定して製作講習会を予定しています。一人でも多くの皆様のご参加を歓迎します。もちろん参加費は無料です。製作会場は京都府綴喜郡井手町です。木津川右岸玉水橋東詰下流の広場です。JR 奈良線では玉水駅下車西へ徒歩10分木津川堤防に出て玉水橋をめざしてください。ご来場をお待ちしています

● 竹蛇籠の幅精製機、80%の完成 太田さんの奮闘続く

竹蛇籠の製作で最も大事なことは、長さの確保が重要です、素材の幅が均一になっていることが六つ目編みの急所であることが判明しています。去年は竹割り機の製作で、少なくとも勢いをつけて7mを走り抜けて四分割や五分割する重作業を軽減する竹割り機の製作を行って、随分と体力作業が軽減されました。今年は製品の均一を目指して、幅の精製機の製作に臨んでいます。太田さんが廃品のバイクエンジンの再生を行い動力にしての製作に苦勞していただいています。これが運転できると素材の確保が容易になり、新鮮な竹で細工が出来ることになります。成功に大きな期待がかかっています。太田様、ご苦勞をおかけいたします。

● 山城北土木事務所から河川調査の捕獲魚の同定依頼の打診が届く

先日事務所から近い間に生き物調査を実施するので、捕獲できた魚の魚種を同定いただきたいとの依頼電話が届きました。私たち里山の会では主として木津川本川での魚に夢中になってきました。中には支川での取り組みは、どちらかといえば弱い部分です。今回このような依頼が届きましたのは願ったりかなったりの機会でしたので、快く協力を約束いたしました。

● 木津川希少種植生調査監理業務 植生調査

この夏の気候は低温続きや高温が全国各地に広がり、台風の来襲も予想外のルートを通過するなど、異常なこと続きでした。8月の調査はこの暑さを避けようとしてしましたが、うまくゆかず、九州地方への大雨続きの天気になりました。どのような結果が待ち受けているかと思うと興味津々です。

9月8日(土)第13回上狛川クリーン作戦

ジャンボタニシ駆除と清掃作業 多くの皆様のご参加を呼び掛けています。長年取り組んできましたので、地域のみなさんもお参加いただくことになりました。おかげでジャンボタニシも少なくなり、きれいな川に変わりつつあります。一方ではジャンボタニシは根強く山城地域のあちらこちらで増えてきているとの声も聴かれます。稲を食い荒らすようですので、田んぼの敵といわれています。子どもたちそして地域の皆さんが取り組まれているところをご覧になり、少し手伝っていただけないでしょうか。申し込みが必要ですが、当日参加もOKです。午前9時から11時30分に解散です。服装は長靴と手袋。タオル帽子、熱中症対策をお願いします

竹蛇籠製作講習会 参加者募集中

9月15日(日)

午前9時30分～12時まで

玉水橋東詰め 広場

JR 奈良線 玉水駅下車 西へ徒歩5分

手袋 帽子 作業服 作業できる靴

毎週 土日 連続開催

申込み不要 自由参加 現地受付